

○発行
鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取子ども学園後援会
電話 (0857) 22-4206

○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

鳥取子ども学園 学園だより



鳥取子ども学園

創立一〇〇周年によせて

鳥取子ども学園 理事長 尾崎 悌子

二〇〇六年一月十三日、社会福祉法人鳥取子ども学園は創立一〇〇年を迎えました。私は今、脈々と受け継がれてきた愛の御業の節目の場にめぐり合わせたことに畏れと、感謝と、喜びを感じています。

「福祉で大切なことは、継続と存続」である。生活とは毎日毎日の連続であり、一瞬たりとも停滞は許されない。」前理事長・尾崎良一は鳥取子ども学園九十年史の中で述べています。一瞬の停滞もなく今日に到ることが出来たのは、創立以来温かい心を寄せ続けて下さった多くの地域の人々の支えと、行政の理解と、ごも達の幸せを願



いひたすらに愛を注いだ歴代の職員の献身があつたからにはかなりません。鳥取子ども学園の一〇〇年の歴史は、時代の変化と社会の変貌に

伴つ苦難の歴史でもありました。初代院長・尾崎信太郎の弟修三は追悼集「花形見」の中で、鳥取子ども学園の前身である鳥取孤児院創立時の信太郎の想いを次のように記しています。「戦勝!!何ぞ其名の美しき、去れど臆去れど見よ犠牲、戦没、負傷、何

という矛盾。然して最後に其背後に潜める幾多酸鼻なる軍人孤児を見るに及び、彼の宗教心は最高潮に達し、人道問題の上に更に深く想いを凝らすに至った。」日本キリスト教団鳥取教会に連なる人々の協力のもと創設された「鳥取孤児院」の運営は、公的援助の乏しい当時困難をきわめました。私達の想像も及ばない多くの試練を受けつ

つ、一〇〇年の歩みは続けられました。幾多の苦難をくぐりながら学園を支えてきたのは、キリスト教の愛の精神「わたしが自分の全財産を人に施しても、また、自分の体を焼かれるために渡しても、もし愛がなければいっさいは無益である」(コリント人への第一の手紙第十三章)の一節だったのではないのでしょうか。

二十一世紀を迎えた今、「少子化」が重大な社会問題となりました。そして「子育て

も同じように大きな課題としてとり上げられています。時代の、社会の、地域のニーズに呼応し、地域と共に歩んで来た学園の歴史を想います時、深刻化している子育て問題を今の社会の福祉ニーズとどう創立一〇〇周年事業として乳児院(鳥取子ども学園乳児ホーム)設立を考えるに至りました。国の施設整備交付金を受け、県の市の援助も頂いています。しかし、かけがえのない命を預かる場としての充実を思う時、最大の問題は財源の不足です。私達は、「人として尊ばれる。社会の一員として重んじられる。よい環境の中で育てられる。」という児童憲章の理念を心に刻み、多くの人々の温かな御協力を頂きながら募金活動を進めています。

一〇〇年を迎えることの出来た今、神の御加護に感謝すると共に、今日まで支え続けて下さった総ての人々に心から御礼を申し上げます。先達の大きな愛に想いを寄せ更なる歩み続ける為、変えるべきものは変える勇気と、変えてはならないものを受け容れる平静さと、判断を誤らぬ力を持つことが出来るよう努力していきたいと思えます。鳥取子ども学園がいつまでも、地域に愛される施設、地域に開かれた施設、地域と共にある施設であり続けることを祈りますと共に、皆様の変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

二〇〇五年度事業報告及び
二〇〇六年度事業計画

《法人本部》

神様の「恩寵」と皆様の祈りに支えられて、創立百周年の記念すべき年を迎えましたこと、心より感謝申し上げます。

◆二〇〇五年度事業報告

「乳児院その他建設工事」

二〇〇六年一月三十日、指名業者七社（一社辞退）による指名競争入札の結果、大内建設株式会社が一億一千八百九十四万四千円で落札。

二〇〇六年一月三十日、着工。八月十日完成予定。二〇〇五年度二十％、二〇〇六年度八十％進捗予定とした。決算等別表参照。

(別表)

◆二〇〇六年度事業計画

《創立百周年事業》

①乳児院関係は別表参照。

・二〇〇六年八月二十八日(月)竣工式

・ “ 九月一日(金)建物使用開始

・ “ 十月一日(日)乳児院開設

創立百周年記念 学園「ごも祭

②学園墓地の改修 一百万円

・二〇〇六年八月十四日までに完成予定。

③鳥取養育研究所の設立 百万円

④「創立百周年記念誌」発行

創立百周年記念式典・同窓会 三百万円 二〇〇六年

十一月八日(土)

◆創立百周年記念募金にご協力を！

「建築資金五千万円を目標に募金を募っています。ご協力ください。」

収入の部

(単位：円)

区 分		平成17年度決算 (20%)			平成18年度予算 (80%)	合計 (100%)
		補正予算額	決算額	増減		
鳥取県補助金 (通常分)	乳児院分	9,668,000	9,668,000	0	38,670,000	48,338,000
	児童養護施設分	4,182,000	4,182,000	0	16,731,000	20,913,000
鳥取県補助金 (県任意補助金分)	乳児院分	1,228,000	1,228,000	0	4,911,000	6,139,000
	児童養護施設分	0	0	0	0	0
一般財源 (自己資金)	乳児院分	7,299,000	7,299,000	0	28,105,000	35,404,000
	児童養護施設分	5,087,000	5,087,000	0	21,903,000	26,990,000
合計	乳児院分	18,195,000	18,195,000	0	71,686,000	89,881,000
	児童養護施設分	9,269,000	9,269,000	0	38,634,000	47,903,000
総	計	27,464,000	27,464,000	0	110,320,000	137,784,000

支出の部

(単位：円)

区 分		平成17年度決算 (20%)			平成18年度予算 (80%)	合計 (100%)
		補正予算額	決算額	増減		
施設整備費	乳児院分	15,760,000	15,760,000	0	63,035,000	78,795,000
	児童養護施設分	5,321,000	5,321,000	0	21,288,000	26,609,000
	その他工事	2,708,000	2,708,000	0	10,832,000	13,540,000
	小計	23,789,000	23,789,000		95,155,000	118,944,000
設計費	乳児院分	2,435,000	2,435,000	0	1,451,000	3,886,000
	児童養護施設分	1,240,000	1,240,000	0	124,000	1,364,000
	小計	3,675,000	3,675,000	0	1,575,000	5,250,000
初度備品費	乳児院分	0	0	0	7,200,000	7,200,000
	児童養護施設分	0	0	0	2,800,000	2,800,000
	小計				10,000,000	10,000,000
別途工事費		0	0	0	3,590,000	3,590,000
	乳児院分	18,195,000	18,195,000	0	71,686,000	89,881,000
	児童養護施設分	6,561,000	6,561,000	0	24,212,000	30,773,000
	その他工事	2,708,000	2,708,000		10,832,000	13,540,000
	小計	0	0		3,590,000	3,590,000
総	計	27,464,000	27,464,000	0	110,320,000	137,784,000

2005年度各施設の月別利用状況

Table with 14 columns (months and total) and multiple rows for various facilities like '養護施設', '短所', '鳥取フレンド', etc.

本部会計決算書

Table for (収入) (Income) with columns for 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(Δ)額.

Table for (支出) (Expenditure) with columns for 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(Δ)額.

(注) 事務費支出には退職給与金を含む。歳入歳出差引き残金 ¥508,847-は次年度へ繰り越す。

鳥取子ども学園は現在、入所児童四十... (収入) (単位 円) ...

鳥取子ども学園は現在、入所児童四十... (支出) (単位 円) ...

《児童養護施設「鳥取子ども学園」》

児童養護施設 施設会計決算書

Table for (収入) (Income) with columns for 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(Δ)額.

Table for (支出) (Expenditure) with columns for 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(Δ)額.

(注) 雑収入には職員給食代を含む。歳入歳出差引き残金 ¥287,820-は次年度へ繰り越す。

《情短施設「希望館」》

鳥取子ども学園希望館は、昨年度、入所宿泊部門は二十三名でスタートし、年度途中に十四名の退所と九名の入所があり、年度末に一名が家庭復帰しました。通所部門は、七名でスタートし、年度途中に一名の退所と五名の入所があり、年度末には中学三年生三名が、学校卒業と共に退所しました。

平成十八年四月、希望館はオープンして十三年目に入りました。入所宿泊部門は、十九名(小学生四名、中学生十名、高校生五名)で、通所部門は十名(小学生二名、中学生八名)でスタートしました。養育と心理的な援助を目的とする情短施設は、児童指導員・保育士・セラピスト・看護師・精神医が配置されています。平成十八年四月一日現在の施設数は、全国に二十九施設(二道二府十九県)ですが、今年度中に群馬県に一施設、高知県に一施設、計二施設が開設される予定です。希望館は、ここ数年、被虐待児の入所が多数を占めており、子どもたちが、安心して生活ができ、希望をもてるような環境を整え、職員や他の子どもたちのかかわりの中で健やかに成長できるように、生活、心理、学校教育、精神医学の協働のもとに、治療援助的な環境を整えて参りたいと考えております。

情短施設 施設会計決算書

(収入)		(単位 円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
措置費収入	148,975,000	149,138,543	163,543
補助金収入	5,483,000	5,484,384	1,384
寄付金収入	230,000	230,845	845
雑 収 入	2,950,000	3,961,513	1,011,513
引当金戻入	6,314,000	6,314,000	0
合 計	163,952,000	165,129,285	1,177,285

(支出)		(単位 円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	142,348,000	142,313,289	△ 34,711
事業費支出	21,604,000	20,787,335	△ 816,665
合 計	163,952,000	163,100,624	△ 851,376

(注) 雑収入には職員給食代を含む。
歳入歳出差引き残金 ¥2,028,661-は次年度へ繰り越す。

行 事

【学園関係】

- 12月5日 鳥取いなばライオンズクラブ・餅つき大会
- 12月17日 クリスマス祝会
- 1月2日 OBすき焼き交流会
- 1月12日 伝承あそび
- 1月6日 四施設合同新年会
- 1月10日 希望館通所部門・宿泊体験(大山青年の家)
- 1月13日 学園創立記念日
- 1月13日 希望館通所部門・とんど焼き
- 1月18日 クリスマスイブ・ホームパーティー
- 1月22日 鳥取ライオンズクラブ・卓球大会
- 1月24日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 1月27日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 1月29日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 1月29日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 1月31日 希望館通所部門・春の遠足(かにっこ館・柳茶屋キャンプ場)
- 2月10日 希望館通所部門・宿泊体験(大山青年の家)
- 2月17日 クリスマス祝会
- 2月20日 わくわく子育て支援センター「育児講座」
- 2月21日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月22日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月23日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月24日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月25日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月26日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月27日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月28日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月29日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 2月30日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月2日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月3日 ひなまつり
- 3月9日 平成十八年度入所児説明会&身体検査
- 3月16日 お別れ会
- 3月17日 作品展
- 3月18日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月19日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月20日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月21日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月22日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月23日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月24日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月25日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月26日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月27日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月28日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月29日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月30日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 3月31日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月3日 進級式
- 4月4日 第五十六回入園式
- 4月9日 春の親子遠足(こどもの国)
- 4月16日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月18日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月19日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月20日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月21日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月22日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月23日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月24日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月25日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月26日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月27日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月28日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月29日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 4月30日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 5月11日 健康診断(園医による)
- 5月15日 「わくわく東職場体験学習」鳥取東中二年生
- 5月19日 わくわく子育て支援センター「育児講座」
- 5月23日 わくわく子育て支援センター「育児講座」
- 5月24日 講師 高橋克己氏
- 5月26日 非難訓練(総合訓練)
- 5月26日 消防署員 消防車来園
- 5月26日 交通安全指導(ヤマト運輸社員による)

《保育所「鳥取みどり園」》

一人ひとりの子どもを大切に！

園長 入江 一枝

春から初夏へと移り変わるように、子どもたちの生活も「静」から「動」へと変化し、積極性が見られてきました。

今年度も昨年度に引き続き「遊びを豊かにする保育環境を考える」をテーマに「ワクワク トキドキ 笑顔がいっぱい」のスローガンのもとに、子どもたちの健やかな育ちを願って取り組みをしています。

子ども時代に友だちと一緒に遊びながら実体験を豊かにすることは、生きる力が身につくことだと考えています。一人では生きられません。いろいろな人の関わりの中で葛藤しながらお互いを尊重し合い、助け合っていくことが人間として生きる生き方ではないでしょうか。

人の成長は、乳幼児期からの育ちの積み重ねの上に存在するといわれています。その大事な乳幼児期をお預かりしている私たちは、毎日の保育の中で一人一人の子どもを大切に「自分が好き 友だちも好き 保育園って楽しいな」と思え

るように、しっかりと向き合い、耳を傾け心の声を聴いていきたいと思えます。

子どもを取り巻く環境は、時代とともに変化し、また、各家庭の様子も多様化している今日、保育所のニーズも多様化していますが、子どもたち一人一人が輝いて遊び、生活する保育環境は？ 地域のニーズは？ など、子どもを真ん中にし、職員みんなで考え、取り組んでいきたいと思えます。

今年度も特別事業として

- ・地域子育て支援センター事業
- ・乳児保育促進事業
- ・障害児保育促進事業
- ・開所時間延長促進事業（朝七時〜夕七時）を実施しています。

お部屋訪問

ゆりかご組（0歳児）

安心して遊ぼうね

保育士 芦川 順子

ミルクの匂いと泣き声で十八年度のゆりかご組がスタートしました。継続児四名、新入児五名、三ヶ月から一歳までの九名の子も連日に囲まれ、四月当初は、ぐっすりと眠れなかったり、ミルクや食事、たっぴり扱れなかった新入児。新

しい保育士に人見知りをし、表情が固かった継続児でした。

一ヶ月が経って、担当保育士の姿が見えなくなると探し、後を追ったり、たっぴりミルクを飲んで、眠ることができるようになるなど、少しずつその子どもなりのリズムで過ごせるようになってきました。急速な発育、発達が見られる時期で、この一ヶ月の間にも、寝返り、ずり這い、お座り、一人歩きなど沢山の「初めて」に出会い、感動したり、一緒に喜んだり赤ちゃんの生きる力に拍手を送っています。そんな子ども達の心に寄り添い、家庭と連携を密にしながら、保健、安全に十分配慮し、個人差に応じて欲求を満たし健康な生活リズムを作っていく。

また、特定の保育士の愛情深い関わりが、基本的信頼関係の形成に重要であること認識して、担当制を取り入れるなど職員の協力的体制を工夫していき、一日二十四時間を見守り入れた保育を心がけていきたいと思えます。



保育所 施設会計決算書

(収入)		(単位 円)	
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
運営費収入	127,135,780	127,242,310	106,530
補助金収入	26,269,075	26,464,952	195,877
寄付金収入	120,000	88,200	△31,800
利用料収入	713,200	910,750	197,550
雑収入	1,861,181	1,884,653	23,472
引当金戻入	3,950,000	4,650,000	700,000
合計	160,049,236	161,240,865	1,191,629

(支出)		(単位 円)	
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	142,069,236	142,079,859	10,623
事業費支出	17,100,000	18,244,310	1,144,310
繰入金支出	880,000	880,000	0
合計	160,049,236	161,204,169	1,154,933

(注) 雑収入には職員給食代を含む。
歳入歳出差引き残金 ¥36,696-は次年度へ繰り越す。

《子ども家庭支援センター「希望館」》

子ども家庭支援センター「希望館」(以下、支援センター)は、鳥取子ども学園希望館に附設する相談機関です。鳥取県内から、子どもに関する様々な相談を電話で二十四時間三六五日受け付けています。また、必要に応じて来所相談や訪問相談もしています。相談内容は発達・養育・不登校など子どもに関する相談がほとんどです。

近年、支援センターの認知度も少しずつ広がっており、周りの方々からも「電話相談って大変そうだね。」と言われることも多くなりました。確かに電話だけでは話を聴くことしかできないのですが、「電話だからこそ相談できた。」「電話でしか相談できない。」「方にとって、そのこと自体がとても意味のあるのではないかと、改めて感じるようになりました。そして、この出会いが相談された方の方への一歩につながるいいなと思います。支援センターと同じような相談機関が全国で約六十カ所あります。そして今年度の九月二十一・二十二日に「平成十八年度全国児童家庭支援センター協議会総会」として、鳥取県に集まることになりました。この総会でも、どんな「出会い」があるのか、今からとても楽しみにしています。

平成17年度子ども家庭支援センター「希望館」センター実績

①相談方法別件数

相談方法	実件数	延件数
電 話	115	328
来 所	138	266
訪 問	198	221
合 計	451	815

③夜間の対応、及び一時保護件数(延件数)

夜間の対応			一時保護	
来所	電話	訪問	件数	平均所要時間
12件	64件	14件	0件	0時間

②相談内訳別件数(実件数)

養護相談 虐待(再掲)	保健相談	障害相談	非行相談	育 成 相 談					いじめ	その他	合 計	
				性格行動相談	不登校相談	適正相談	しつけ相談	小 計				
153	120	42	68	5	98	167	173	10	448	20	79	815

子ども家庭支援センター「希望館」 会 計 決 算 書

(収入)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)	科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)
補助金収入	9,432,000	9,432,000	0	(支出)			
				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)	事務費支出	9,432,000	9,432,000	0

《自立援助ホーム「鳥取フレンド」》

鳥取子ども学園内の敷地を離れ、西町の借家で生活を始めて一年が経ちました。古く、少し不便を感じる家ですが、互いの関わりは近くなってきていると考えます。寮生にとっては、自分たちの家であるけれどもいつまでもいる場ではなく、私たち職員は、少しずつ入れ替わっていく寮生たちと、その都度変わっていく雰囲気の中で生活を共にしています。今年度は五名の男子でスタートし、現在は六名となっています。各々仕事に就き頑張っています。日々いろんな事がありますが、共に生活することを大切にしていきたいと思えます。

《自立援助ホーム「倉吉スマイル」》

平成十七年四月より、倉吉市 関金町山口で自立援助ホーム倉吉スマイルの生活が始まりました。今では五人の子どもたちが生活しています。ホームの手伝い(畑仕事)をしながらスタートしていった生活でしたが、今ではみんな仕事をもち、自立への階段を自分のペースで上り始めています。

この一年で彼らが自ら決め、行動していく姿を少しずつが見ることができ、うれしく思います。やがて巣立っていく彼らの帰る家(里)になれるようにがんばっていききたいと思えます。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計収支決算書

(収入)				(支出)			
(単位 円)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)	科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)
補助金収入	8,896,000	9,177,000	281,000	事務費支出	10,977,000	11,777,547	800,547
寄付金収入	30,000	80,000	50,000	事業費支出	2,974,000	3,165,120	191,120
利用者負担金収入	1,430,000	1,357,500	△72,500	合 計	13,951,000	14,942,667	991,667
雑 収 入	2,092,000	2,515,677	423,677				
繰入金収入	1,000,000	2,000,000	1,000,000				
前年度繰越	503,000	503,310	310				
合 計	13,951,000	15,633,487	1,682,487				

(注)雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。
歳入歳出差引き残金 ¥690,820-は次年度へ繰り越す。

自立援助ホーム「倉吉スマイル」施設会計収支決算書

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(△)額. Rows include 補助金収入, 寄付金収入, 利用者負担金収入, 雑収入, 繰入金収入, 合計.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(△)額. Rows include 事務費支出, 事業費支出, 合計.

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。歳入歳出差引き残金 ¥863,826-は次年度へ繰り越す。

当学園事業へのご寄付
100周年記念募金後援会へのご加入に感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、及び100周年記念募金後援会に賛同(会費納入)していただいた方々は下記のとおりです。心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2005.12.1~2006.5.25)

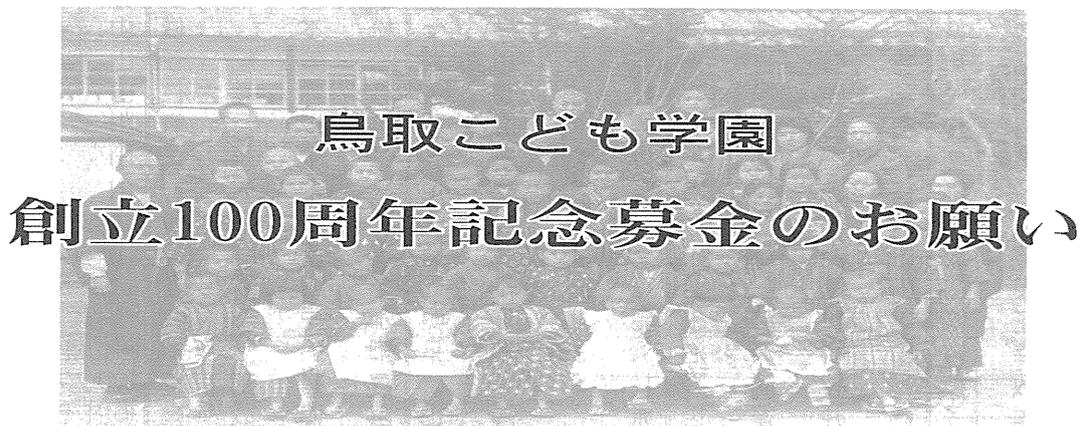
(敬称略)

Large table listing donors with columns for 氏名 (Name) and affiliation. Includes names like 伊藤 禮子, 片山 弘子, 胡 沢 庄 治, etc.

物品寄付者 (2005. 12. 1~2006. 5. 31)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
(株) ジャパンエナジー	くらもと	大 樹 寺	ぱにーに 大家祐子
(株) 竹中工務店鳥取営業所	倉吉青年会議所	田 中 温 子	福 田 眞
(有) 香 風 堂	黒 川 和 子	中国アイスクリーム協会	無 名 氏
アイエヌジー生命保険会社	光琳グループ 猪口吉野	鳥取敬愛高校家庭科クラブ	山 根 一 昭
秋 崎 るり子	財団法人鳥取市学校給食会	鳥取県企画部協働推進室	山 根 志 津 子
浅 井 慶 紀	三 友 商 事 (有)	鳥取県中小企業団体中央会	ル・コシヨンドール
稲葉山公民館キルトクラブ	シ オ ン 会	鳥取更生保護女性会	鳥取家畜保健衛生所
海 陽 亭	資生堂社会福祉事業団	鳥取ヤクルト販売(株)	鳥取鮮魚仲買人組合
香 川 県 里 親 会	修 立 小 学 校	西 口 彩 美	
亀 山 誠	新日本海新聞社	日 本 鏡 餅 組 合	



<創設当時の鳥取育児院>

鳥取こども学園は、2006（平成18）年に創立100周年を迎えました。感謝です。

1906（明治39）年1月13日、孤児等恵まれない子ども達の養育事業を開始して以降、鳥取孤児院から鳥取育児院・児童養護施設鳥取こども学園、保育所鳥取みどり園、情緒障害児短期治療施設鳥取こども学園希望館、子ども家庭支援センター希望館、自立援助ホーム鳥取フレンド及び倉吉スマイルを設置運営し、愛の業を続けてまいりました。

最近の「子育ての混乱」は、目に余るものがあります。マスコミは児童虐待による乳幼児の死亡事件を連日のように報じています。育児書が氾濫している割には「子育て問題」はますます深刻になっています。政府も昨年、児童虐待防止法、児童福祉法を改正し、児童養護施設と乳児院への乳幼児の相互受入れを可能にしました。しかし、児童養護施設にはその受入れ態勢は未整備で、乳児院は米子に20名定員のベビーホームがあるだけです。今までも、県東部で緊急保護が必要な乳児は、鳥取こども学園で一時保護して来ましたが、不十分な対応しか出来ませんでした。

母性は子どもによって開拓されると言われます。乳児期にやむを得ず親子分離せざるを得ないとすれば、母子の交流によって愛着形成を促進し、親子再統合をはかり、養育の継続性を確保することは必要不可欠です。そこで今回、国からの支援も受け、県東部の鳥取こども学園内に乳児院を創設することを決意しました。私たちは、慈善事業の時代、制度も何もない時代から、目の前のいと小さきもののために、ただひたすら神様の愛と奇跡を信じて、百年の歩みを続けてきたのです。皆様の愛の御手を心からお願い申し上げます。

募金目標は、5,000万円です。
 よろしくお願ひします。

2006年2月15日

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等を報告する意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。